

白川よう子



白川勝利で 四国から野党連合政権の扉を開こう



四国各地で米軍機の低空飛行が相次ぐ中、市田忠義参院議員を通じて外務大臣、防衛大臣に渡した低空飛行中止を求める要請や住民が撮影した動画などを収めたDVDをもとに両省に対し、5月初旬ですでに昨年1年間に匹敵するほどの多さ。保育所上空を爆音を轟かせてかせて低空飛行する米軍機に子どもが泣き叫んでいる。今すぐやめさせるべき」と電話で抗議要請しました。(6月1日)



5月31日午前、坂出市で野角満昭市議や支部の人たちと党勢拡大。50代の2人が入党され、5人が日曜版を購読。午後は丸亀市で笹井孝志市議予定候補や中谷真裕美市議と数カ所で街頭演説をおこないました。



ZOOMで小松泰信さんと対談「よ子の部屋」第1回(5月29日、岡山と高松で)

「よう子の部屋」始動です。コロナ禍の中、SNSでの発信を強めようと、会議アプリのZoomを使った配信を始めました。第1回目は岡山大学名誉教授の小松泰信さんをゲストに、コロナ問題や農業・漁業の問題、「生理の貧困」について40分間のぶっちゃけトーク。小松先生は色んなところに引っぱりだこのので、トークも巧みで助けられました。配信は白川よう子のホームページで見ることが出来ます。今後の配信について若い皆さんから意見を出しても良かったり、どんな企画にしていくかを検討中です。

高松市では10万円の定額給付金の申請用紙がようやく届きました。「申請はお済ですか?」と声かけをする「自分ほもらえない」と思っていた、「こういのは本当に苦手で困っていた」とのお返事。通帳などの写しも必要なので、我が家のプリンターを抱えて訪問を重ねる毎日。旧塩江町は山間地で、コピーのためにコンビニや支所まで出かけることもままありません。山奥の家まで訪ねていっしょに仕上げたポストイン。「本当に助かった!」と感謝して頂きました。1日も早く給付金が届き生活が守れるよう、今後も相談活動などを進めていきます。

よう子記

